

## 第2回（仮称）柴田町総合体育館建設検討委員会での議事に関する論点整理

委員	項目	意見
1 建築関係有識者	(1) 基本設計よりも規模を縮小して建設する場合に、何か専門的なアドバイスはあるか	<p>(1) 体育館内に設置する機能を限定し、体育館としての規模を縮小させる</p> <p>① 空間が大きくなるほど、構造計算上はコスト増となる。大空間部分を極力小さくし、会議室等は別棟として整備すれば、構造計算を分けることができ、コスト減となる。</p> <p>② 必ずしも一棟建てである必要はない。考え方を少し変えれば、コストダウンを図りつつ、将来の可変性に柔軟に対応できる体育館とすることも可能。</p>
		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">他の委員からの質問・意見</p> <p>① 災害発生時の電力確保など、災害に備えて最低限導入しておくべきシステムはあるのか。</p> <p>※ メンテナンスコストはかかるが、太陽光発電など自家発電機能は必要。仮設的なものでも良いのかどうか要検討。空調でも、冬に仮設的な送風も行うこともあり得る。</p> <p>② 体育関係団体の代表としては、将来の増築や改築に柔軟に対応できることは重要。基本設計には武道場がなく、それで総合体育館と言えるのか疑問。また、震災時の経験から、個室が多いほど利用価値が高まると考える。</p> <p>③ 1つの大空間で全てを実現することもあるかと思うが、サブアリーナ的な空間を設けて、よりコストを抑えた形で実現することも可能。できるだけ大空間の負担を軽減したほうがよい。</p>
	(2) 体育館アリーナへ冷暖房機能を設ける場合、何か専門的なアドバイスはあるか	<p>(2) 近年、壁に設置する輻射式冷暖房方式や従来の空調方式でも換気方法とあわせ、活動域を効率的に空調する方法など、新しい形式のものが出ている</p> <p>① 基本設計の冷暖房方式は優れた提案であるが、近年様々な方式が出てきており、新しい方式も検討する余地はある。</p> <p>② 大空間と別棟とで、冷暖房方式を分けるのも一案。</p>
(3) 建築専門の知見から、町にとって有益なアイデア等はあるか	<p>(3) 全体の稼働率を上げるためには、多様な活動が受け入れられる計画にしておく必要がある</p> <p>① 稼働率を上げることが重要。大空間の他にもバリエーションに富んだ空間設計を行い、それぞれで稼働計画を立てれば、稼働率は上がると考える。</p>	
2 PPP/PFI関係有識者	(1) PPP/PFI手法により、体育館を建設、運営することのメリットを引き出す方法はあるか	<p>(1) 体育館というハードが必要なのではなく、実施できるスペース・機能が必要である</p> <p>① 体育館というハードが必要なのではなく、そこでどのような機能を果たしたいか、そのためにどのようなスペースが必要なのかが大事。</p> <p>② 町民が期待する機能やスペースを実現するために、最適な手法を選ぶという考え方が必要。</p>
		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">他の委員からの質問・意見</p> <p>① 今回、総合体育館を建設する場所に、商業施設ができることもあり得るのか。給食センターの整備計画があり、災害時のことを考えると体育館と同じ場所にあればよいと思う。</p> <p>② 町として、将来あの場所で何をしたいのかが重要。避難所機能を持つことは決まっているので、給食センターもあったほうがよいという議論はあり得る。必要な機能を整理し、実現するための手法として何がよいのかを考えることが重要。</p>

委員	項目	意見
2 PPP/PFI関係有識者	(2) PPP/PFI手法により、体育館を建設、運営することのメリットを引き出す方法はあるか	<p>(2) PPPの手法により、運営管理上のメリットを生み出すためには、民間事業者のノウハウを活かせるよう施設の設計段階で取り込む必要がある</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 建物の所有権が必要なのではなく、安定的な使用权が必要。</li> <li>② 民間事業者による契約不履行が起きた際に、使用权が守られる工夫もいる。</li> <li>③ 公共施設を50年運営する場合、建設コストは全体の1/3程度。残りは管理運営コスト。民間に委ねることで運営管理コストのメリットを生み出せるかどうかが大重要。</li> <li>④ 要求水準は必要最小限にとどめ、ハードではなく機能を求めることが重要。官民で施設や敷地をシェアすることで、双方にとってメリットとなる。</li> <li>⑤ PPP/PFIを導入する場合、従来手法と比べて行政のマンパワーが必要となるため、人件費の増分もふまえてコスト比較する必要がある。</li> <li>⑥ リスク分担もふまえて、コストメリットを検討する必要がある。</li> <li>⑦ 敷地が余り、公共として使用する必要性がないのであれば、民間事業者へ長期有償で貸し付けた方が、将来的な負担を増さず、賃借料として収入を得ることができる。</li> <li>⑧ 防災機能が重視されていることもあり、建替え用地の確保も念頭に置く必要がある。</li> </ol>
3 スポーツ関係有識者	(1) コンパクトで良質な体育館建設を目指すために必要なもの、また、一般的に必要とされているものの、実際には必要性がないと考えられるものは何か	<p>(1) 今回示された施設の標準的な規格・規模を一定程度満たしつつも、さらに、「地域施設」の機能・役割も同時に補えるような空間の構造が必要</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 今回の総合体育館は「市区町村域施設」に位置付けられる。公式競技や公式的な競技ができる体育館ということ。一流のプレーを見てもらいたいため、柴田町でもそれなりの競技を行える機能はあったほうがよい。観覧席はないと厳しい。</li> <li>② 公式競技だけでは年間の利用機会が少ないため、町民が利用しやすいように分割的な仕様やデコレート可能な空間とすることで、稼働率もあがる。</li> <li>③ 「見る」と「する」を両方満たすことは考えておいたほうがよい。</li> <li>④ 近隣にもそれなりの総合体育館があるため、重複するのはよくない。「柴田町に行けばこれができる」といった“聖地”のようなものがあればよい。</li> <li>⑤ 柴田町らしさを念頭におくと、他の体育館との差別化ができると思う。</li> <li>⑥ 利用者に長時間滞留してもらえるような空間ができるとよい。</li> </ol>
4 金融機関関係者	(1) 地域経済界からの観点で、町に対し、何かアドバイスできることはあるか	<p>(1) 実施方針「地域で担えるものは地域で担うことを前提とする」に関しては、地元の「活用度合いに応じ、採点時に反映させる」といったところまで言及してもよいと思う、そのほうが、事業者も検討がしやすい</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① スポーツイベント開催なども想定されるため、その際に、地元の飲食業者や物販業者が優先的に商売をできるブースなりを考えてもらえるとよい。</li> <li>② 今朝の新聞に、大河原町のマウンテンバイク施設整備の記事があった。柴田町でも同じように、オリンピックで注目を浴びた「スケートボード」や「スポーツクライミング」等の施設を整備すれば話題性もあり、集客にもつながるのではないかと。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">他の委員からの質問・意見</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自由意見にあったネーミングライツはとてもよいアイデア。施設ができた時に名前をつけるのが最も効果的。得た利益を全体コストの一部にあてるのは有効と思う。</li> </ol>

委員	項目	意見
5 体育関係団体の代表者	(1) 民間事業者が総合体育館を運営するとした場合、スポーツ関係者として何か望むことはあるか	<p>(1) PPP手法を導入して建設した場合、利用者サイドに沿った総合体育館としての機能や運営が図られるのか心配である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 性能発注となるため、きめ細やかな条件や約束が大事だと思うが、頭の中で整理しきれておらず不安。</li> <li>② 近接する総合運動場との連動的な活用を期待。球場で大会やイベントが開催される際、駐車場が不足するため、総合体育館の駐車場は広くしてほしい。</li> <li>③ 平成11年にスポーツ都市宣言を行ったものの、20年以上経った今、名実ともと言えほど変わってはいない。スポーツ都市の名に恥じない体育館を期待。</li> <li>④ 基本構想や基本方針にある「するスポーツ」「見るスポーツ」「支えるスポーツ」に対処できる総合体育館の建設を望む。</li> </ul> <p>(2) 子どもから高齢者まで、誰もが気軽にスポーツ活動に参加できるような窓口を作ること。また、災害時にいち早く対応し、町と連携してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① スポーツだけではなく、イベント等の利用がスムーズに出来るような配慮を希望。</li> <li>② 町民の使用料や手数料の負担軽減があれば、町民にとってよい。</li> <li>③ 若いお母さんも安心してスポーツを楽しめるよう、キッズルームや託児スペースの設置を希望。子どもと大人と一緒にスポーツを楽しめるイベントがあるとよい。</li> <li>④ 子どもが遊べる遊具の充実。新しい遊具や施設を設置してもらい、子どもも大人もスポーツだけでなく、利用できるようにしてほしい。</li> <li>⑤ 柴田町民のために、思いやりの精神をもって運営してくれる民間事業者を希望。</li> </ul>
6 町民代表	(1) 防災の観点から、総合体育館の敷地や施設整備について、何か望む機能はあるか	<p>(1) 利用する立場としては、防災機能のイメージや体育館内の災害時における利用計画は大変良いと思う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 震災時に一番困ったのはトイレ。災害用トイレの設置が明記されているため、そのとおり整備してほしい。災害時に利用しやすい体育館をぜひお願いしたい。</li> <li>② 施設の利用手続きの簡素化や、住民が利用しやすい使用料金体系とすることを望む。例えば、電話で利用申込みができた、支払い方法がわかりやすかったりなど。</li> <li>③ 基本設計によると冷暖房設備費はそれなりのコストになるが、近年の世界的な異常気象を鑑みると、利用者の健康を考えて、冷暖房付きの体育館としてほしい。</li> </ul>